



ご挨拶
 同窓会 会長
 山崎 好美

会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。コロナウイルスの感染状況は、7月8月頃よりはいぶ減少しているとはいえ、まだまだ予断を許さない状況です。同窓会活動もこの間、思うような活動は出来ていません。各支部においても同様です。

定期総会が近づいて来ました。今年度の定期総会については、5月と8月に開催された役員会で実施方法について検討された結果、昨年と一昨年2年続けて書面審議であったため今年度は少人数でも対面式で実施したいという意見が有り慎重に審議した結果、『12月3日(土)』に対面式総会を実施することにな

りました。感染防止の観点から懇親会はありません。懇親会を楽しみにしている会員の皆様には大変申し訳なく思っておりますが何卒事情をご理解の程お願いいたします。

大学に目をむけてみますと、3月19日に学位記授与式が行われ310名の学生が社会人としてのスタートを切りました。内訳は商学科163名・観光マネジメント学科70名・経営情報学科77名です。本学の建学の精神を胸に新生活を頑張って頂きたいと切に願います。

4月4日には県民ホールにて入学式が執り行われました。あいにくの雨でしたが、商学科163名・観光マネジメント学科49名・経営情報学科85名(スポーツマネジメントコース59名・情報マネジメントコース26名)編入生2名、合計299名の新入生が商大の門をくぐりました。

第51号
 発行
 横浜商科大学
 同窓会
 TEL・FAX 045-583-9031
<http://www.shodai-ob.com/index.html>
 制作・印刷
 (株)クリード
 TEL 03-6866-9318

式典の後には、先輩学生4名によるトークセッションがあり、これからの学生生活についての貴重なアドバイスがありました。新入生は先輩方のアドバイスを頭の中の片隅に置いて学生生活を過ごして頂きたいと思えます。新入生の今後の活躍を期待いたします。

これに先立ち、4月1日に特待生・同窓会奨学生の表彰式が行なわれました。大学特待生9名・同窓会奨学生3名の学生に対してそれぞれ学長、同窓会会長より表彰状が送られ、同窓会奨学生は3名とも女子学生のうち2名は留学生です。

さて、皆さんは『生理の貧困』と言う言葉を見聞きしたことがあると思います。コロナ禍にあつて親の給料は増えない、アルバイトは出来ないような状況下で生理用品の購入がままならない女子学生が全国各地の大学で増えています。同窓会として

もこのような状況は看過出来ず、何とか支援をしたいと思いい大学側と意見交換をして7月8日より生理用品の配布を始めました。

この取り組みは、在学生支援の一環として恒久的に続けていきたいと考えています。9月17日には秋季卒業式が行なわれ8名の学生が巣立つて行きました。

また、新しい研究棟の着工が始まり、来年の3月末には完成予定です。来年度の定期総会は大学での実施を予定しており、その時にはホームカミングデーも実施されると思います。その際には多くの会員諸氏のご出席をお願いします。



我が母校

YOKOHAMA COLLEGE OF COMMERCE



〈2020年度 定期総会「書面審議」の結果について〉

横浜商科大学同窓会
会長 山崎 好美

先般行われた「2020年度同窓会 定期総会『書面審議』」の結果について、下記の通りご報告いたします。

議案	審議事項	賛	否	合計
第1号議案	2020年度事業報告	560	6	566
第2号議案	2020年度決算報告・監査報告	560	6	566
第3号議案	2021年度事業計画(案)	560	6	566
第4号議案	2021年度予算(案)	560	6	566

※議案発送総数 12,951

※返信総数 568

以上の通り議案のすべてが可決されました。

多くの会員の方々にご協力を賜りましたことに心より御礼とともに深謝申し上げます。

尚、議案に対する賛否の意思を表示していない方が数名おられたので、会長が賛否を行使しました。

大嶋裕 同窓会前会長を偲んで

令和4年1月、松が取れて「さあ新しい年の始まり」と思っていた矢先に訃報連絡がありました。

以前より、本人から直接あるいは第三者を介して病状については私のところに連絡があり、承知はしておりましたが、まだまだ先の話として考えていました。

会員の方々はご存知かと思いますが、大嶋さんは、同窓会創立時から同期の初代会長金子剛士さん共々関わってこられ、二人三脚で先頭を走って来られました。

金子さんのあとを受けて平成10年10月から平成26年9月まで、8期16年の長きにわたり会長職を務めていただきました。同時に大学の評議委員にも就任され卒業生の立場から色々とご尽力されました。

また、その間、各支部の設立にも奔走され、支部設立総会においては必ず口にされた言葉があります。それは『小さく産んで大きく育てよう』でした。今でもこの言葉は私の脳裏に焼き付

ています。

会長職を退かれた後は、同窓会の顧問として役員会に出席され色々とアドバイスを頂戴しましたことが懐かしく思われます。

大嶋さんが設立当初から思い描かれていた同窓会のあるべき姿が今となっては分かりませんが、同窓会の発展に精一杯努力することが残された我々の務めだと思えます。

今頃は、松本武雄先生や親友の金子さんと大好きなお酒を酌み交わしていることでしょう。

大嶋裕さん安らかに眠りください。合掌



会員の皆さまより貴重なご意見を多数いただきましたので 一部、掲載致します。

コロナに負けずがんばって
まいりましょう！
平成21年卒

2022年令和4年には大学にて
総会が開催されることを希望します。
昭和58年卒

長い階段を降りた所にプレハブの
食堂と部室が有りました。
昔と今の違いを
小さく特集してください。
昭和50年卒

同窓会報は、メールでよいと思う。
又はHPからログインするとか。
平成11年卒

ご苦労様です。私と違って充実した
学生生活を送っておられる皆さんの
様子を読ませていただき、
頭が下がる思いです。
平成6年卒

楽しさが伝わる会報等、
皆様の真心が伝わって
うれしく思っています。
今後共、よろしく願いいたします。
昭和49年卒

第1期生OBとして、同窓会組織、
母校の益々の御発展を
心より願っております。
昭和46年卒

“商大はここから世界へ”の
写真なかなか良し!!(昔とだいぶ違う)
大学の友達が一生の友達になる。
在校生の皆さん、頑張れ!!
昭和51年卒

会報誌及び総会関係資料を
ご送付頂きありがとうございます。
コロナ禍の状況の中で、
会報誌の発行が50号とのこと、
おめでとうございます。OBとして
ありがたく感謝いたしております。
更なる発展を祈念しております。
昭和48年卒

私も大学を卒業し、45年。
今は監査役として働いています。
他方面で活躍している方も多くいる
と思います。学生の為にもっとOBを
使うべきであると考えます。
昭和52年卒

卒業以来ホテル業界にありますが、
ホテル業従事者の支部会などは
ございませんか？
昭和61年卒

コロナ禍による制限下、事務局の
皆様におかれましては、大変ご苦労
されている事と存じます。アフター
コロナに向け、今後益々のご発展を
お祈り致します。
平成元年卒

いつも同窓会報を送っていただき
ありがとうございます。感謝してお
ります。会の今後の発展を心より
応援しております。
昭和61年卒



令和三年度
学位記授与式

2022年3月19日(土)十四時より
横浜商科大学 鶴見キャンパスにて

学位記 授与

商学科	163名
観光マネジメント学科	70名
経営情報学科	77名

同窓会・
育友会より
記念品として
名刺入れを贈呈
しました。



新会員紹介

商大で学んだこと

商学部 観光マネジメント学科 卒業

梅澤 菜々子

4年間の大学生活を振り返ると様々な思い出や経験、出会いがありました。その中でも一番印象に残っているエピソードは、4年間所属していた国際交流サークルMAP部での活動です。

語学学習や多言語多文化理解学習 (Multilingual and Multicultural education) をこつこつ (And) 複言語複文化主義を考える (Plurilingual and Pluricultural education) を目的としており、それぞれの頭文字からMAPと省略されています。

入部のきっかけは、海外生活経験を活かし異文化や日本文化にふれる機会と留学生との交流の場に興味があつたからです。入部してすぐに2年間副部長、翌年に部長を務めさせていただきました。部活動を通じて、私はコミュニケーション能力とスケ

ジュール管理が身につきました。

主な活動内容は、毎週木曜日ランチをしながら交流を行い、放課後に中国料理やハラル肉肉を使用した料理、韓国料理など世界の料理を食べに行き、休みの日にはガラスアート体験やろくろ体験など文化体験へ行きました。毎年7月には文化部連合会主催の七夕祭りや、抹茶や中国茶、韓国茶、ベトナムコーヒーなどの世界のお茶と浴衣体験を行ってきました。

これらの活動で留学生や大学の職員の方だけでなく、地域や体験先の方、年齢や国籍、宗教の異なる様々な考え方を持った方と交流することができました。私にとってこの出会いが、1つのことに対し様々な角度から物事を捉え、相手の尊重や傾聴力を養えました。また、イベントの企画準備や打合せ、アポイントメントなど活動をスムーズに進めるためのサポート力も身につきました。この力は、自分のスケジュール管理だけでなく、部員や体験先の方のご予定をしっかりと把握して、より活動の参加者を集めるためにも重要

です。結果、部員が新しい部員を呼び交流の輪を広げられ、貴重な時間を過ごすことができました。

最後に大学生活の中で出会い、支えてくださった全ての方にこの場をお借りしてお礼申し上げます。

商学部 観光マネジメント学科 卒業

寺内 夏紀

大学生活で思い出に残っていることは、資格取得のための勉強とゼミでの論文作成です。入学時から約半年間、「旅行業務取扱管理者」という国家資格の勉強に励みました。テキスト4冊ほどの広範囲の暗記やJ Rの運賃計算など難しい分野も多くあったため、資格講座で教わったことの復習や分からないところは講師に積極的に質問することを続けました。また、観光地を覚える際はガイドブックや地図帳などを購入し、ビジュアルを用いて印象付ける勉強も行いました。そして、約半年間真面目にコツコツと勉強した結果、合格することができました。この経

験を経て、継続して取り組むことの大切さを改めて実感し、その後の大学生活での履修にも活かすことができました。コロナの影響もあり、希望の観光業には就職できませんでしたが、同様に高校の時に取得した簿記などの実務資格が就業に繋がりました。

もう一つのゼミでの論文作成では、「コロナ禍における移動販売事業の研究」について書きました。コロナによる移動を制限された者における移動販売事業の在り方と今後の可能性を見つけ出すことを目的としました。まず、移動販売事業の歴史や現状、その背景にある弱い弱者を整理して、次にコロナ禍での移動制限、本来ある移動と生活の保障機能を調べ、揭示しました。それらを踏まえ、仮説を立て、検証を行いました。検証方法として、移動販売を行っている事業者のところに訪問し、コロナによる変化を伺いました。移動販売を行う事業者の方々と話せる機会や様々な販売商品を実際に見て体験するという貴重な経験をさせて頂きました。そして、この論文は「横浜商大生論

集」に掲載されると共に「松本武雄賞」を受賞することができました。ゼミの教授や教職員、友人、両親など様々な人の支えがあつたからこそその成果です。心より感謝しております。社会人になっても大学生活で得た経験を活かし、周囲への感謝を忘れずに頑張りたいと思います。



新会員紹介

商大で学んだこと

商学部経営情報学科卒業

荒井 章人

私は商大での学生生活を振り返り、ゼミナール活動を通してサッカーに関して貴重な経験ができたと思っています。

2年次から所属していた伊藤ゼミでは日本のプロサッカーリーグであるJリーグの横浜FCと連携事業という形で交流を持つ機会を得ました。連携事業の内容は、横浜FCの抱える「認知度の向上」という課題に取り組んだことでした。SNSを使った選手紹介をはじめ、スタジアムグルメの紹介や新たなレシピの開発など様々な角度から解決案を実際に提案し、最終的にはそれらを飯山祭(大学祭)で資料配布し、学内にある「横浜FC展示ブース」へ掲示しました。このような活動を通じてプロサッカーチームのクラブ運営の裏側を知ることができ、また問題を解決

するために考える力も養うことができました。このような機会を頂いた伊藤先生に大変感謝しています。

また、私は幼い頃からサッカー一筋で、在学中も部活動ではサッカー部に所属していました。

私が所属していた当時のサッカー部は、人数も少なく未経験の部員もおり、まだ出来立てのチームという状態で、神奈川県内の大学リーグに参加しても公式戦では大量失点で負けることがほとんどでした。そのような状態から「どうしたら試合に勝てるチームになれるのか」を部員同士で考え、コミュニケーションを取り合い、一から日々の練習に取り組みました。その結果、創部3年目にしてようやく勝利を取ることができたことは、

今までずっと負けてきた分、その試合が非常に思い出に残る印象的な一勝となりました。その後も少しずつですが公式戦で勝てるチームになり、チームの成長とともに自分自身もコミュニケーション力やリーダーシップ、課題解決力を身につけることができたと思えています。幼い頃からただ漠然とボールを蹴ってききましたが、大学生活ではスポーツとしてのサッカーにさまざまな角度から接することができ、その中で得られたものが多く、商大を卒業できたことに非常に感謝しています。社会人になってからも、学生生活で培ったものを発揮する場面が沢山あるので、今後も商大で学んだことを活かして日々精進していきたいと思っています。

横浜商科大学副学長(研究担当) 羽田功

横浜商科大学では、本学の教育職員が行う研究活動や地域貢献活動を支援する、各種助成制度を設けております。2022年度も多くの教育職員がこれらの助成制度をうけ、研究活動及び協働事業に励んでおります。

1. 横浜商科大学研究助成金

本助成金は、本学の教育職員が単独又は2名以上からなるグループで推進する単年度の研究活動について助成するものです。助成金額は、1件につき100万円を上限としています。

2022年度採択者

	研究代表者(共同研究者)	テーマ
1	中村純子	南西諸島における天津波伝承と象徴の研究
2	若林宏保(宮崎暢)	ソーシャル・ルッキングによる都市のブランド把握に向けた実証研究
3	鈴木雅康	企業会計と会社法の再検討：税効果会計を通じた分配規制への示唆

2. 横浜商科大学出版助成金

本助成金は、本学の教育職員が研究成果を刊行するために必要な経費の一部を助成するものです。助成金額は、1件につき100万円を上限としています。今年度(2022年度)については応募がありませんでした。

2021年度の助成対象として商学科教授の東風安生先生が書かれた書籍「子どもたちのために親と教師ができること(出版:22世紀アート)」が出版されました。オンデマンド版(発注してから印刷される)の本であるため、通常店頭には並んではいませんが、amazon等(<https://www.amazon.co.jp/dp/4867262684>)から発注が可能となっています。ぜひご一読ください。

3. 横浜商科大学地域貢献協働事業助成制度

本学の教育職員が行う地域貢献協働事業を奨励及び支援する制度です。「(A)個人又は共同」は一事業につき、個人プロジェクト50万円、共同プロジェクト100万円を上限とし、「(B)授業一体型」「(C)イベント型」については予算編成と一体的に審査し、当該事業に対する助成額を決定しています。

2022年度採択者

	事業代表者	協働事業者	プロジェクト名
1	佐々徹	大口通商店街協同組合	本学と大口通商店街協同組合との包括連携協定に基づく協働プロジェクト(A個人型)
2	柳田義継	横浜市鶴見区役所区政推進課	市・区民への行政・地域情報発信プロジェクト(A個人型)
3	東風安生	横浜市鶴見区福祉保健センターこども家庭支援課	子育て支援・土曜日プロジェクト(A個人型)
4	佐々徹	横浜中華街「街づくり」団体連合協議会	中華街まちなかキャンパス「横浜中華街の世界」(B授業一体型)
5	佐々徹	野毛地区街づくり会、野毛地区振興事業協同組合、横浜にぎわい座	野毛まちなかキャンパス「横浜・野毛の商いと文化」(B授業一体型)
6	佐々徹	横浜市鶴見区役所	鶴見コンシェルジュ養成講座(B授業一体型)





令和四年度 入学式

2022年4月4日(月)十三時より
神奈川県民ホールにて



同窓会奨学生のご紹介

	学科	学籍番号	氏名	国名/都道府県	出身高校	入試区分
3年次	商学科	2201120	チャン チャミ	ベトナム	—	留学生
3年次	商学科	2201121	チュー ティ ヴィ	ベトナム	愛信国際学院	留学生
2年次	商学科	2211193	山口 里音	神奈川県	生蘭	指定校一般

～3年ぶりに開催決定～

〈第47回 横浜商科大学同窓会定期総会のご案内〉

日 時：2022年12月3日(土)14時より

場 所：新横浜グレイスホテル
 (横浜市港北区新横浜3-6-15 TEL 045-474-5111)
 (JR各線・市営地下鉄新横浜駅より徒歩1分)

議 案：第1号議案 2021年度 事業報告
 第2号議案 2021年度 決算報告・監査報告
 第3号議案 2022年度 事業計画(案)
 第4号議案 2022年度 予算(案)
 第5号議案 規約の変更(改正)について
 第6号議案 会長の選出について
 第7号議案 会計監査の選出について

総会のみで懇親会はありません。

尚、マスク着用等コロナ感染予防対策を徹底してご参加願います。

先行き不透明な中ですが、久し振りに多くの皆さまとお会い出来ますようお願い申し上げます。

【事務局職員 交代について】

事務局で永年勤務していただいた平田美紀さんが
 9月末日をもって退職されることになりました。
 いろいろお世話になりありがとうございました。

尚、後任に清水康子さんが入職しました。

藤田美代子さん共々、よろしく申し上げます。

同封の「議案」資料を熟読していただき、
 別紙「書面表決書」又は「回答フォーム」より
 賛否の意思を表示して下さい。「書面表決書」の
 署名は、自署(自筆)でお願いします。
 押印は不要です。

〔回答QRコード〕

〔回答フォーム〕

[https://forms.gle/
 Jc2wkuCSCoZF1JT18](https://forms.gle/Jc2wkuCSCoZF1JT18)



編集後記

3年に及ぶコロナ生活の終りはいつくるのでしょうか。生まれ変わって人間として生まれてくるかどうか判らない私達。このままの生活で良いはずがありません。命を大切に、次の代の人々にすばらしい世界を渡せるよう頑張ります！そして、金子氏・大嶋氏の歴代会長が目指した商大同窓会の姿をしっかり守り、さらなる上を目指して頑張ります！

会報51号発行に多くの皆さまにご協力いただきありがとうございます。尚、この会報は10年間HPに掲載されますことをご承知願います。

— 紀 —

■同窓会事務局

月・火・木・金 午前10時～午後4時30分

〒230-8577

横浜市鶴見区東寺尾4-11-1

TEL/FAX 045-583-9031(直通)

E-mail dousou@shodai.ac.jp

URL <http://www.shodai-ob.com>